

ダイヤル油面計取替手順 (エアシールセルタイプコンサベータB形・BM形)

作業手順	作業内容	ポイント	参照図
①	変圧器を停止する	作業の安全のため、変圧器を無課電状態にする。 但し、気中プッシング等の充電部が露出していない場合は、変圧器を停止する事無く取替作業は可能です	
②	警報回路を切り離す	作業中に誤警報を発しないように、警報回路を切り離す	
③	コンサベータの圧力平衡油を抜油する	平衡油油面計指示を「2」迄油抜きを行う	
④	警報配管・配線を外す	油面計端子に接続されている配線を外し、配線の端末に絶縁処理を施す。(警報配管・配線は再使用する)	
⑤	油面計を外す	油面計取付ボルトを取外し、油面計アーム・浮子ごと外す	図-2
⑥	油面計取付のパッキン当たり面を清掃する	開口部にビニールフィルム等で養生を行い、サンドペーパー等にて清掃を行う。	
⑦	油面計取付部に新規パッキンを取付、パッキン外側の外周にボスシールを塗布する	パッキン面にボスシールが付着しないように、塗布する	
⑧	新油面計を取り付ける	油面計取付ボルトは対角に締付を行う。	図-2
⑨	警報配管・配線を再使用し、配線を接続する		
⑩	盤内の油面計警報配線を外し、油面計端子台からの絶縁抵抗を測定する。測定後は警報配線を接続し、油面計端子に蓋をする	絶縁抵抗の管理値2MΩ以上を確認し、配線締付の確認を行い端子の蓋を取り付ける	
⑪	コンサベータに平衡油を注油する	コンサベータ内の平衡油注油線まで注油を行う	
⑫	作業箇所およびその周辺をケレンし、補修塗装を行う	作業中にキズ及び汚した箇所を補修塗装を行う	
⑬	変圧器の運転再開	変圧器の運転を再開する	

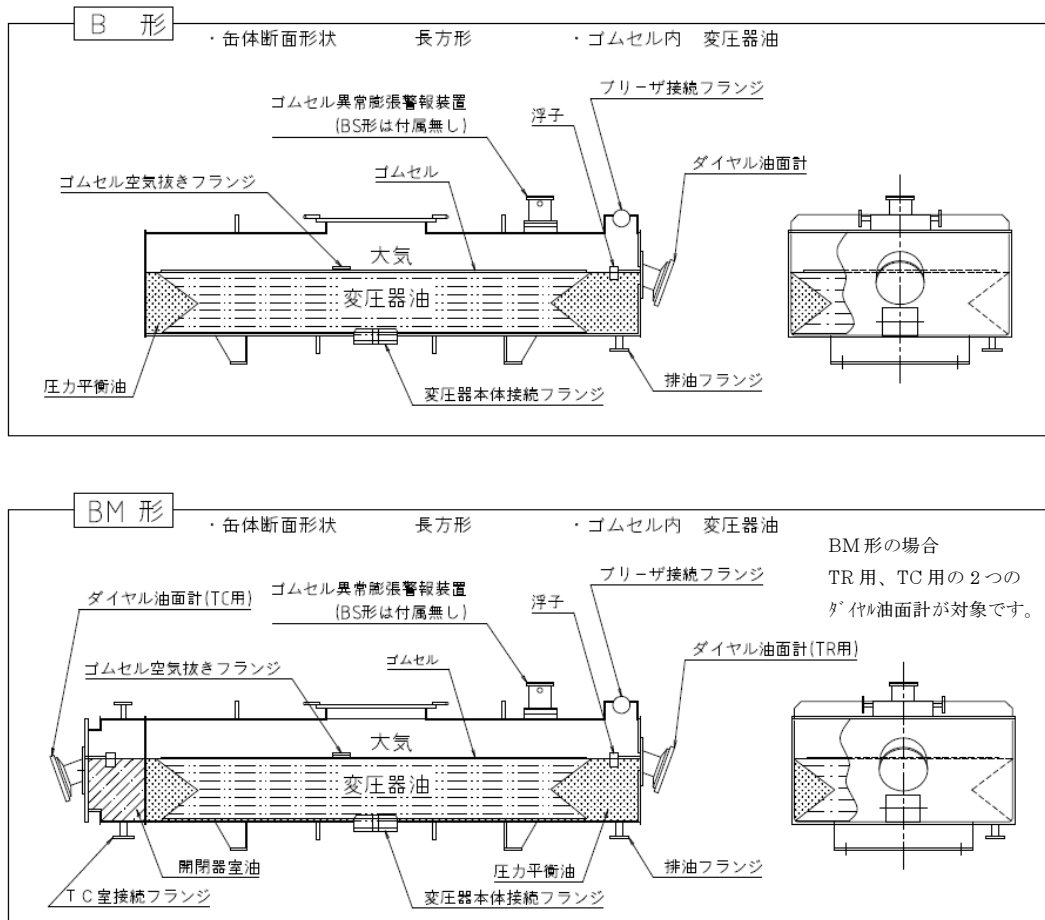
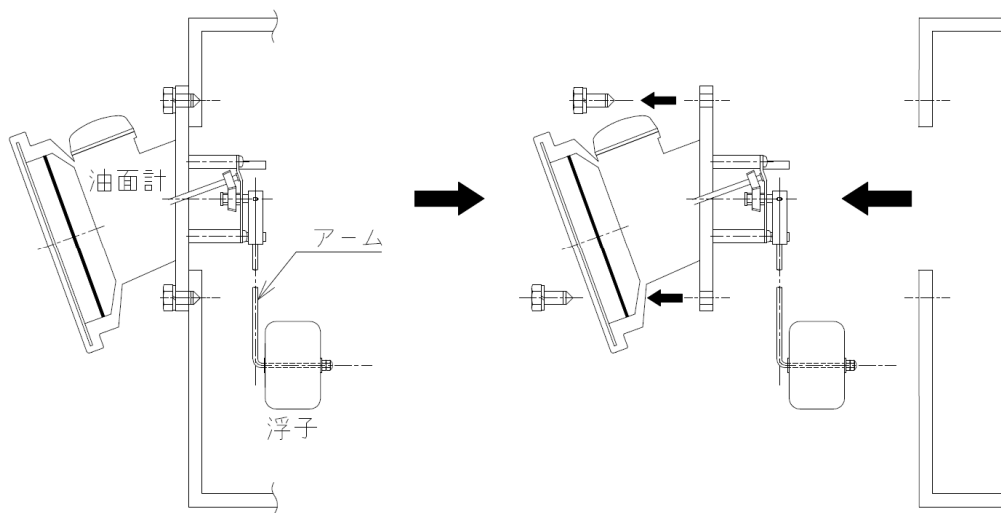


図-1 ダイヤル油面計エアシールセルタイプコンサベータB形・BM形設置図



手順(取外)

1. 油面計取付ボルトを取外す
2. 油面計を取外す (アーム・浮子ごと)

手順(取付)

1. パッキン取付面を清掃する
2. パッキンをパッキン溝に取付ける
3. パッキン取付面の外周にボスシールを塗布する
4. 新油面計を (アーム・浮子ごと) 取り付ける

図-2 油面計取外し・取付